

ホームサウナ施工説明書 SB701・SBS1101

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

☆安全上の注意

- 取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けて下さい。
- この説明書では、商品を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表 示	意 味
 警告	この表示欄の内容を無視して誤った取付けをすると、死亡または重症などを負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

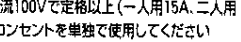
●本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
--	----------------------------

⚠ 注意 工事完了後、扉の傾き・ガタツキ・扉丁番等のゆるみがないかを必ず確認してください 使用中に扉やひじかけなどが落下してケガをするおそれがあります。 	⚠ 警告 アース工事を行ってください (D種接地工事) 漏電により感電するおそれがあります。 
ホームサウナは壁内に埋込み設置しないでください。  思わぬ事故につながるおそれがあります。	配線の接続は確実に行ってください。 接続が不完全ですと故障の原因になります。

警告

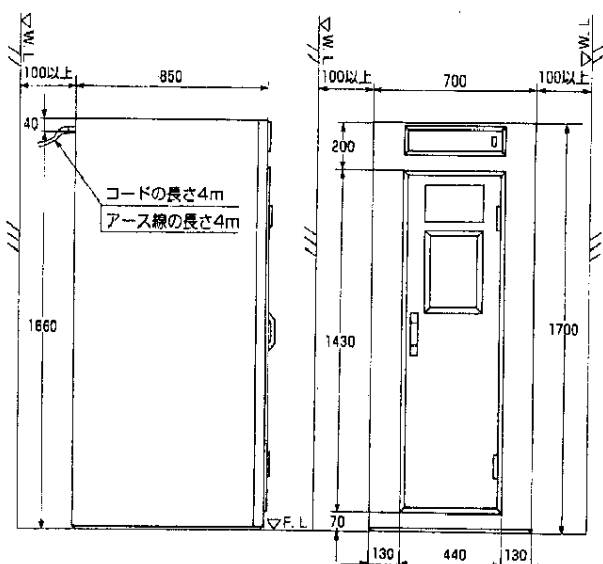
電気配線工事は、関連する法令に従って、必ず「有資格者」が行ってください	浴室など湿気の多い場所へ設置しないでください
火災や感電の原因になります。 	漏電により感電するおそれがあります。 
電源は交流100Vで定格以上（一人用15A、二人用20A）のコンセントを単独で使用してください	設置（壁・天井から離す寸法）は、下記すき間を確保してください
容量が不足している場合又は、他の電気器具と併用するとは分枝コンセント部が異常発熱し発火するおそれがあります。 	火災予防の為 サウナ本体左右……100mm以上 サウナ本体上方……500mm以上 サウナ本体背面……100mm以上 ☆サウナ周辺の壁・天井は不燃材または準不燃材で仕上げることをお勧めします。 ☆設置条件によっては消防法の適用を受ける場合がありますので、最寄りの消防署にご相談ください。

☆工事寸法

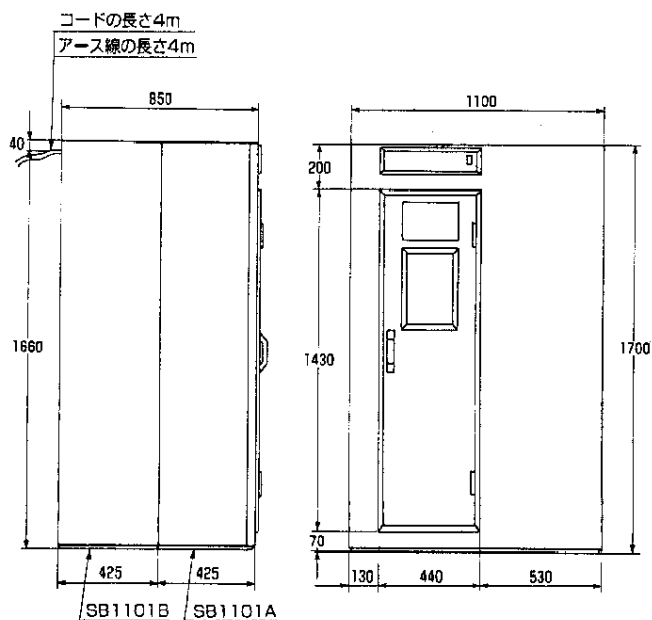
- 天井とのすき間は500mm以上確保してください。
壁とのすき間は下図（SB701）を参照願います。
○特殊品の場合は承認図を確認してください。

製品品番	消費電力
SB701	1225W
SBS1101	1725W

〈SB701〉 一人用サウナ



〈SBS1101〉 二人用サウナ
(2分割式)



☆付属部品明細

	名 称	SB701	SBS1101
1	座すのこ	1枚	2枚
2	床すのこ	前後各1枚	
3	天板カバー	取付済	1枚
4	ひじかけ	取付済	2個
5	アース線	1本	
6	丁番調節棒(取扱説明書と同梱)	1本	
7	六角レンチ	—	2本
8	取扱説明書(保証書付)	1冊	
9	押し板	取付済	1個
10	把手	取付済	1個
11	連結用シャフト	—	4本
12	連結用ナット(M6)	—	3個
13	連結用ボルト(M6×50)	—	3本
14	ひじかけ固定用ねじ(φ3.8×50)	—	6本
15	把手用ねじ(M5×35)	—	2本
16	天板用ねじ(φ3.1×20)	—	14本
17	押し板用ねじ(φ3.1×25)	—	4本
18	キャップ	—	4個

☆設置上の注意

- 浴室などの湿気の多い場所や直接雨、風、外気の当たる場所には、設置しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。
- 水平な場所に設置し、設置場所の強度が十分であるか確認してください。
- 20A用の専用コンセントを設置する時は、配線用遮断器分岐回路には電線太さ2mm以上のVVケーブルを使用してください。
- 電源コンセントの近くに設置してください。中継コンセントや延長ケーブルは、使用しないでください。
- サウナ周辺の壁・天井は不燃材または準不燃材で仕上げることをお勧めします。
- 部屋の出入口など人の通る所や風のあたる所で使用しないでください。

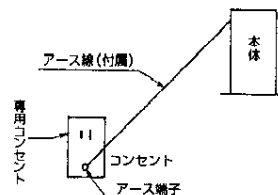
〈設置にあたっての届出要否〉

- ホームサウナは、個人の住居向けに開発された商品です。(不特定多数の方が利用する場所には設置できません。)
- 原則として、個人の住居以外に設置される際は消防署へその旨を届ける必要があります。設置前に最寄の消防署へご相談ください。

☆あらかじめ必要な電気工事 (必ず電気工事店にて行ってください。)

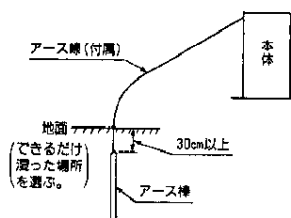
- 万一の感電防止のため、必ずアース工事を行ってください。(D種接地工事)
- 電源は交流100Vで、定格以上(一人用15A、二人用20A)に適した専用配線を行ってください。(他の電気器具との併用はしないでください。)

●アース端子付コンセントを使用する場合



(SB70115A以上)
(SBS110120A以上)

●アース棒を使用される場合



※ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。
(法令等で禁止されています。)

※設置場所の変更やご転居の際には、必ず再度アース線の取付けをしてください。

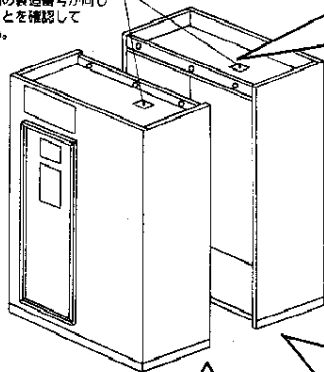
☆取付手順 (番号順に取付けてください。)

(SB701は②⑥⑦のみです)

①本体〔前・後〕の連結

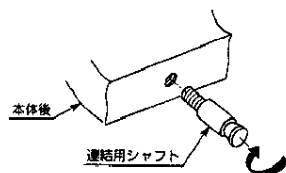
①製造番号を確認する。

天板表面の製造番号が同じであることを確認してください。

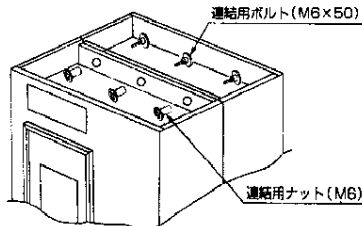


②連結用シャフトを取りつける。

本体の後下部に連結用シャフト(付属品)を取りつけてください。(4か所)



④連結用ボルト・ナットを仮止めする。



六角レンチ(付属品)を使い連結用ボルト・ナットを仮止めしてください。(3か所)

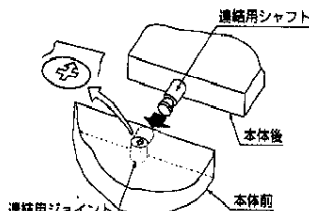
⑥連結用ボルト・ナットを

本固定する。
本体上部の連結用ボルト・ナットを本固定してください。

③本体前・後を組み合わせる。

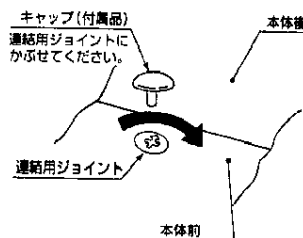
本体の前・後をシャフトに合わせて組み合わせてください。

※連結用ジョイントの矢印の向きが合っているか確認してください。
※組み合わせる時に異物をはさみこまないようにして下さい。



⑤連結用ジョイントを固定し、キャップをかぶせる。

連結用ジョイントを矢印の方向に動かなくなるまで(約45°)回してください。



②すのこ及びひじかけの取付け

※扉丁番のスプリング調節用ピンを丁番調節棒（付属品）を使い外してください。

スプリング調節用ピンの離脱要領は⑦の扉丁番の調節を参照ください。

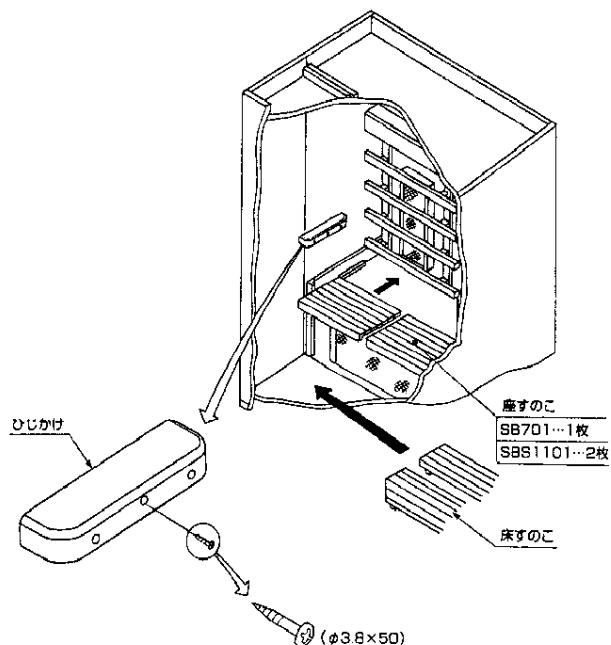
(1) 座すのこ・床すのこを下図矢印方向で設置します。

※SB701の場合は床すのこを固定しているひもを必ず取り除いてください。

(2) ひじかけを付属の木ねじ(3本)で固定してください。(SBS1101のみ)

長手方向にR取りしてある面を上にしてください。(左右共)

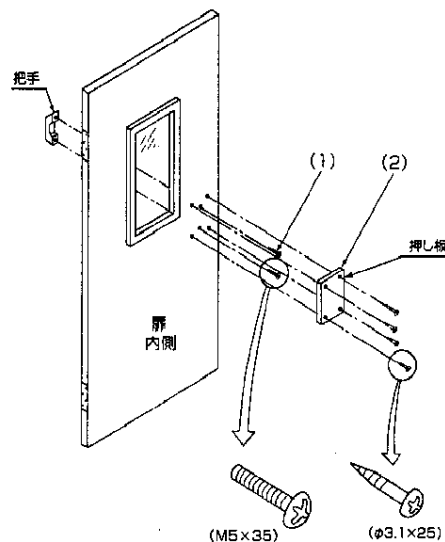
ねじの固定は確実に行ってください。固定が不十分な場合脱落シケガの原因になります。



③把手及び押し板の取付け (SBS1101のみ)

(1) 把手を付属の木ねじ(2本)で扉の内側から固定してください。

(2) 扉内側に押し板を付属の木ねじ(4本)で固定してください。



④配線コードの接続 (SBS1101のみ)

●配線コードを端子台に接続してください。

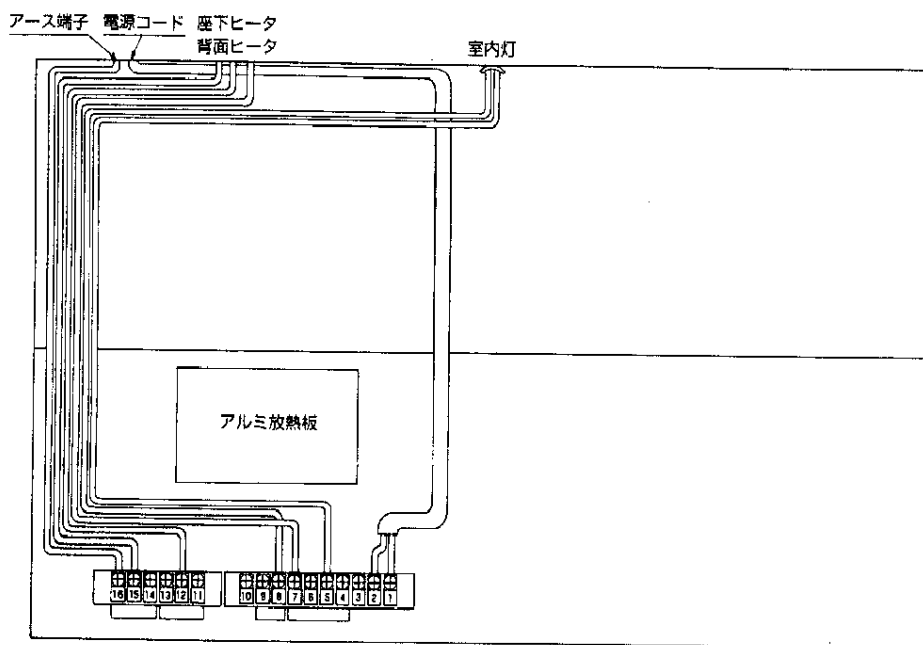
配線コードの先端に番号がついていますので、指定の番号同士を接続してください。

※天板に直接乗ったり、重いものを乗せたりするのは絶対にやめてください。

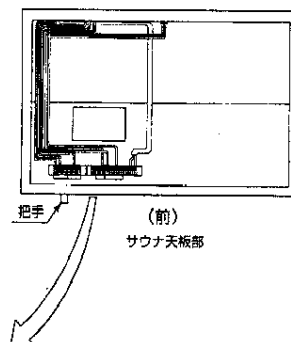
※天板に工具、袋、針金等の備品を置き忘れないよう確認してください。

※配線の接続は確実に行ってください。

※配線コードを引っ張ったり、傷つけたりしないでください。



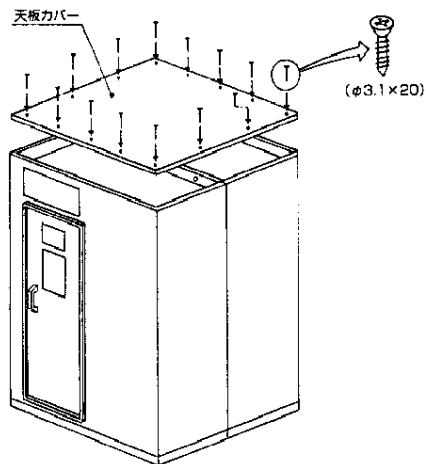
(前)



⑤天板カバーの取付け (SBS1101のみ)

●天板カバーを付属の木ねじ (14本) で固定してください。

※天板カバーに配線コードがかみこまないように注意してください。



⑥アース線の接続

●アース線 (付属品) を本体背面のアース端子に接続してください。

⑦扉丁番の調節

丁番のスプリングにより扉は自閉しますので、スプリング調節用ピンを外し解除してください。

<スプリング調節用ピンの着脱の仕方>

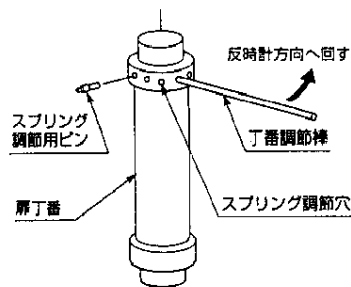
下図のように丁番 (上下2か所) のスプリング調節穴に丁番調節棒 (付属品) を差し込み、反時計方向へ回すとスプリング調節用ピンが外れます。

スプリング調節用ピンを差し込む時も、丁番調節棒を反時計方向へ回してピンを適当な位置に入れてください。

<スプリング調節の仕方>

扉が静かに確実に閉まるようにピンの位置を調節して、扉の自閉を確認してください。

自閉が弱い場合には調節用ピンを左側に、強い場合は右側にずらしてください。



☆取付完了後の確認と清掃

■通電確認 (右図の操作パネル名称を参照願います)

- (1) 電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。
- (2) メインスイッチを「入」にすると、室内灯が点灯します。
- (3) メインスイッチ下のテストボタンを押してメインスイッチが切れることを確認してください。(漏電ブレーカーが作動しますので、スイッチが切れば正常です。)
- (4) 再度メインスイッチを「入」にしてください。
- (5) 操作パネルの運転スイッチを「入」にしてください。
操作パネルの運転スイッチを「入」にすると、タイマー表示ランプが全て点灯し温度表示ランプ「50℃」が点滅します。
また、この時点よりヒータが作動を始めます。
- (6) 5分程たってから前背面ヒータ及び座席下ヒータ等が暖かくなっていることを確認してください。
- (7) 上記の通電確認後、運転スイッチ及びメインスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●扉の傾き・ガタツキなど扉丁番のゆるみがないことを確認してください。

●本体木部は、柔らかい布を水で湿らせ、中性洗剤をつけて固く絞ってから拭いてください。その後もう一度固く絞った布で水ぶきしてから、乾いた布で水分をきれいに拭きとってください。

●シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

操作パネル名称

